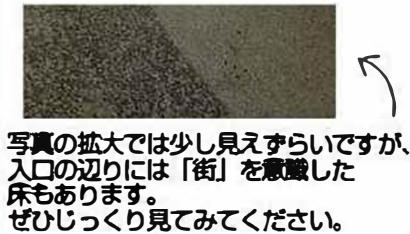


「本の街」石狩市民図書館

今回の探検では、石狩市民図書館さんの見学をさせていただきました。石狩市民図書館では「図書館の中に街をつくる」というその言葉通り、街のような図書館の様子を見ることができました。ここでは、3つの視点からそのことについてを中心にまとめていきます。

1. 「街」のような内装

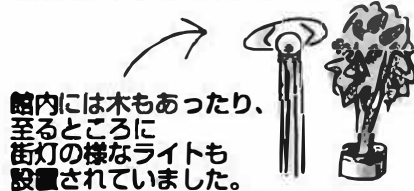
石狩市民図書館には、「街」を感じる部分が多くあります。ここではイラストとともにまとめていきます。



写真の拡大では少し見えづらいですが、入口の辺りには「街」を意識した床もあります。ぜひじっくり見てみてください。



本棚の上にアーチがあり、まるで商店街の屋根のようになっています。



館内には木もあつたり、至るところに街灯の様なライトも設置されていました。



館内には野菜などを販売しているコーナーもあり、多くの人で賑わっていました。



実際のお店の様子です。探検当日はアスパラガスが販売されていました。右の写真には木や、街灯の様なライトもあります。



2. 明るく広い館内

ここまで内装について書いてきましたが、ここでは館内の雰囲気についてまとめていきます。館内には大きな窓があるため、明るい雰囲気が印象的です。まるで「街」の中のように太陽の明かりが差し込みます。また、館内が広いこともあり、とても開放的です。



本棚の近くにも大きな窓があります

館内は広く、椅子や机もたくさんありました。読書や勉強をしている方達が大勢いました。



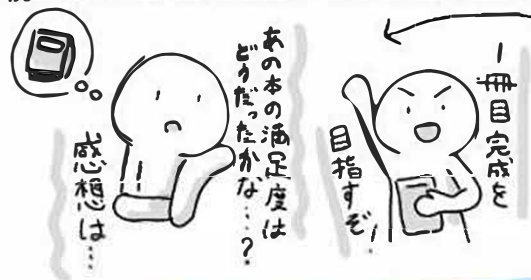
実際の様子です。この日は生憎の雨でしたが晴れている時はさらに明るく暖かそうです。



3. 読書を推進するしくみ

ここまで内装や館内の雰囲気から感じ取れる「街」の部分を紹介していましたが、ここからはまた別の視点からのまとめをしていきます。それは石狩市民図書館で行われている読書を推進するしくみについてです。石狩市民図書館では、大人も子どもも使うことができる「読書ノート」が無料で配布されています(本校でも学生向けに読書ノートが配布されていますね!)。私達も実際に読書ノートを見せていただきましたが、書きやすい項目で、とても取り組みやすく読書に親しみやすいものになっていると感じました。

先ほどまでとは少し視点が違いますが、このように読書を推進するしくみは「図書館の中の街」の住民(来館者)を増やすことのできる良い取り組みだと感じたため、紹介させて頂きました。



この他にも、今まで読んだ本を見返すことができたりと楽しみ方・使い方は人それぞれです。